

葦 森 の 風

3年生は、今

今年の冬は全国的にも寒さが厳しく、3年生の受験を心配していました。しかしながら保護者の皆様方のお力添えをいただきまして、試験当日に大きなトラブルも無く、ここまで進めて来られたと思います。

これまでに、1月18日の高専自己推薦入試、1月27・28日の私立Ⅰ期入試、2月4日の支援学校高等部入試、2月9日の公立自己推薦入試、2月18日の私立Ⅱ期入試、2月20日の高専学力入試と3年生の皆さんは、それぞれのめざす進路に向けて、挑戦を重ねてきました。3年生の皆さん自身の努力と頑張りに加えて、ご家庭での温かいご支援のお蔭で、ここまでは、概ね吉報を手にすることができています。ここで、進路が確定した皆さんもいます。大変おめでとうございます。しかしながら、自分にとっての最終の進路目標が3月10・11日の県立一般入試という皆さんも、たくさんいます。共に励まし合いながら進路実現に向けて頑張ってきた仲間が、ちょうど今異なる状況に身を置く時となっています。しかし、このような時だからこそ、近い目標は異なっても、少し長い展望に立ち、卒業後にそれぞれがめざす道に向けて、同じ気持ちで残り17日となった中学校生活を、有意義に過ごして欲しいと思います。



【緊張気味の面接練習】



【真剣に取り組む授業】

足守地区青少年健全育成フォーラム



【川崎会長開会挨拶】



【叶原先生の温かな語り】



【熱心に聞き入る参加者】【叶原先生の熱い眼差し】



【進行役の御船P副会長】【楠原副会長お礼の挨拶】



2月11日は、予報通り朝から銀世界となり、足守駅の清掃は無くなりましたが、10時30分から足守地区青少年健全育成協議会主催の「健全育成フォーラム」が足守中学校で開催されました。講師に叶原土筆（かなはらつくし）先生をお迎えして、『あなたに出会って、ありがとう』という演題で90分間のご講話を聞かせて頂きました。叶原土筆先生は現在南野育成園園長として、ご活躍ですが、広島大学教育学部をご卒業後、30年以上岡山県立成徳学校（児童自立支援施設）において、不遇の子ども達とご自身のご家族共々の共同生活を送りながら、支援に務めてこられた豊富なご経験と実績をお持ちの方です。私が印象に残ったフレーズの一部をご紹介します。

- ◆心には外からの扉は無い、内側から開かないと扉は開かれない。
- ◆「親子である」と「親子になる」はちがう。
- ◆子どもは、母親に褒められたいという思いで、一生懸命頑張ることができる。
- ◆「愛を求める子」は人に「与える」ことができるが、「物だけを求める子」は人から「求める」ことしかできない。
- ◆『子どもの話をしっかり聴いてやるのが大切である。』（三浦綾子氏）
[受け入れる] → [ほっとする] → [やる気が出る] → [自己実現ができる]

【生徒会の取組】

3年生を励まそうプロジェクト 1月19日～
 新入生を迎えようプロジェクト 2月 8日～
 3年生を送る会 2月28日(月) 5校時

【PTA行事「おいでん祭」～おいでんせえ！！

3月12日(日)11:00～13:00
 生徒も保護者も地域の方も1人100円
 焼きそば・おにぎり・豚汁などなど